北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	異文化ゼミナール	科目コード	1152	単位数	2
担当者名	佐藤　千歳	開講セメスター	第2セメスター	開講年次	1年次
授業の方法	講義	到達目標	B	実務経験	無
ナンバリング	BSe202	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

このゼミでは、北海道を含めた日本社会で増加する外国出身者やそのコミュニティについて調査し、共存・共生に向けた課題と解決策を探ります。
まず移民研究について概説した資料を用い、日本社会における移民の受け入れ状況を理解します。そのうえで、皆さんの関心に応じて様々な分野で活発になる北海道と国外との交流について調べ、北海道の外国人コミュニティと交流します。
こうしたゼミの活動を通じ、国際社会における多様な価値観の存在を理解し、国際的視野に立つ異文化コミュニケーション能力を身につけることを目指します。

到達目標

１）日本社会における移民の状況を理解し、表現することができる。
２）日本社会の移民の状況や課題について、第三者に分かりやすく伝えることができる。
３）授業で学んだ知識を生かして、異なる文化背景を持つ隣人とコミュニケーションをより円滑に行うことができる。

授業内容

1週目 移動と移民
2週目 移民のグローバルな状況
3週目 日本社会と移民
4週目 北海道と移民；明治期以前
5週目 北海道と移民；明治以降
6週目 北海道と移民；1945年から現代まで
7週目 移民について調査計画の立案
8週目 調査対象者とのコンタクト
9週目 インタビュー調査の実施
10週目 フィールドワークの実施
11週目 調査結果の発表
12週目 調査結果の分析
13週目 分析結果の発表
14週目 国際共修の計画立案（オンラインで実施します）
15週目 国際共修の実施（オンラインで実施します）
16週目 やむを得ず15週までの内容を実施できなかった場合のみ補講授業（オンラインで実施します）

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

（予習　毎日15分間×週５日＝計７５分間）新聞、テレビのニュース番組やインターネットのサイトで、移民に関連するニュースを見つけ、毎日１本を読むまたは視聴し、ゼミで討論するトピックを用意してください。
（予習・復習　毎週１～３時間）各自が少なくとも２回発表を行います。ゼミのテーマについて理解を深めるための発表と、それぞれが関心のあるテーマについての発表です。それぞれの発表のためには、授業時間以外に少なくとも２時間の用意が必要です。
※大学構内でWi-fiを用いて配布資料に常時アクセスできます。授業終了後すぐに準備学修に取り組むよう心がけてください。

成績評価の方法・基準

ゼミ討論での発言頻度や内容（約20%）、プレゼンテーションの内容（合計60%）、およびプレゼンテーションでの表現力（約20%）を総合して評価します。

履修上の留意点

１）原則として発表を２回以上実施した履修者のみ、成績評価の対象とします。
２）教室での講義のほかに、あなた自身が調査を行い、結果をプレゼンテーションにまとめる課題を実施します。家庭でも十分な学習時間を確保してください。
３）病気やケガの療養を理由に欠席する場合は、所定の欠席届と、その内容の根拠となる書類を提示してください。
４）授業に関する連絡や課題の提出・返却はmanabaを用いて行います。毎回の授業の前後に確認してください。
※授業中の資料共有やグループワークにノートパソコンを使用します。

課題に対するフィードバックの方法

manabaを通じて課題の採点結果とコメントを個別に連絡します。課題の内容や採点結果についての質問を随時オンライン授業ツールで受けつけます。
※授業中のフィードバックはWi-fiを用いて行います。

テキスト

是川夕『ニッポンの移民　ー　増え続ける外国人とどう向き合うか』（筑摩書房）2025年出版、1012円。

参考書

高谷幸ほか編著『移民政策とは何か―日本の現実から考える』（人文書院）2019年出版、2200円。

更新日付

2026/10/10 10:46